

可変勾配側溝／本体

- 「可変勾配側溝」は「道路側溝」の底版部の一部に凹みを設けた製品ですので、現場でコンクリートを打設することによって流水勾配を確保することができます。
- ふたは「道路側溝／ふた」をご使用ください（「可変勾配側溝／ふた」の規格は設けておりません）。

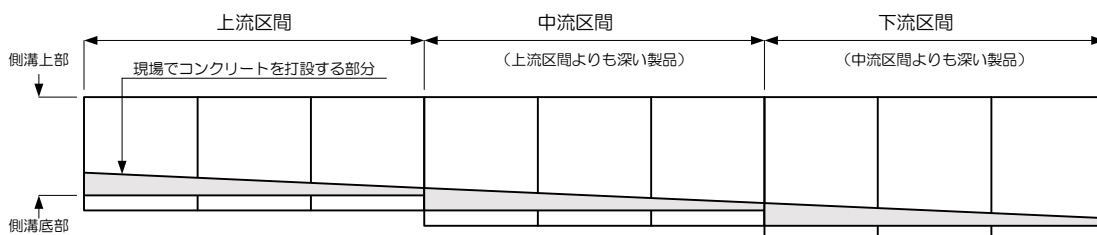
寸法の単位は(mm)、参考重量の単位は(kg)です。

No.	呼び名	内幅	内高	長さ	重量	リップ	区分		
1	250B	250	400	2000	402	なし	AB		
2	250C		550		501	なし	AB		
3	300A	300	300	2000	369	なし	AB		
4	300B		400		428	なし	AB		
5	300C		500		531	なし	AB		
6	300D		600		635	なし	AB		
7	300E		700		730	あり	AB		
8	300F		800		858	あり	AB		
9	300G		900		967	なし	AB		
10	300H		1000		1090	なし	AB		
11	400A		400		400	2000	457	なし	AB
12	400B				500		563	なし	AB
13	400C	600		669	あり		AB		
14	400D	700		788	なし		AB		
15	400E	800		907	あり		AB		
16	400F	900		1010	なし		AB		
17	400G	1000		1176	あり		AB		
18	400H	1100		1260	なし		AM		
19	400i	1200		1430	なし		AM		
20	450	450		450	2000		534	なし	AB
21	500A	500	500	2000	615	なし	AB		
22	500B		600		758	なし	AB		
23	500C		700		829	なし	AB		
24	500D		800		979	あり	AB		
25	500E		900		1030	なし	AB		
26	500F		1000		1262	あり	AB		
27	500G		1100		1360	なし	AB		
28	500H		1200		1511	なし	AB		
29	600A		600		600	2000	832	あり	AB
30	600B				700		935	あり	AB
31	600C	800		1041	あり		AB		
32	600D	900		1100	なし		AM		
33	600E	1000		1180	なし		AM		
34	600F	1100		1310	なし		AM		
35	600G	1200		1480	なし		AM		
36	700A	700		700	2000		942	なし	AB
37	700B			800			1070	なし	AM
38	700C			900			1190	なし	AM
39	700D		1000	1320		なし	AM		
40	700E		1100	1450		なし	AM		
41	700F		1200	1660		なし	AM		
42	700G		1300	1810		なし	AM		
43	800A	800	800	2000	1110	なし	AM		
44	800B		900		1240	なし	AM		
45	800C		1000		1360	なし	AM		
46	800D		1100		1500	なし	AM		
47	800E		1200		1710	なし	AM		
48	800F		1300		1860	なし	AM		

注意してください！

- 可変勾配側溝の内形寸法は道路側溝と同じですが、外形寸法は異なる製品があります。
- 可変勾配側溝には道路側溝のような「1種」「3種」の区分はありません。
- 可変勾配側溝は道路側溝3種に準じて設計しています。
- 道路側溝の底部に現場でコンクリートを打設して流水勾配を確保することもできます。ただし、道路側溝の底部には凹み部分がありませんので、打設したコンクリートがはがれることを懸念される場合は可変勾配側溝をご使用ください。

●計画例（側面図）（下流に行くに従って上流よりも深い製品を使用し、現場でコンクリートを打設して流水勾配を確保します）



道路側溝／ふた

- 「道路側溝／ふた」は日本産業規格（JIS A 5372-2016 鉄筋コンクリート製品／落ちふた式U形側溝）のほかに「ロードレン／ふた」と「深溝型側溝／ふた」を整理し体系化した落蓋式側溝用のふたです。
- 「可変勾配側溝／ふた」としてもご使用ください（「可変勾配側溝／ふた」の規格は設けておりません）。
- 3種については、ふたの裏側に防音用のゴムを埋め込んだ製品もあります。

寸法の単位は(mm)、参考重量の単位は(kg)です。					1種				3種			
No.	呼び名	外幅	全厚	長さ	形状	重量	JIS	区分	形状	重量	JIS	区分
1	250	362	90	500		29	なし	AB		38	A 5372 -2016	AB
2	300	412	95			33	A 5372 -2016	AB		46	A 5372 -2016	AB
3	400	512	110			47	A 5372 -2016	AB		66	A 5372 -2016	AB
4	450	572	120			58	なし	AB		80	なし	AB
5	500	622	125			65	A 5372 -2016	AB		92	A 5372 -2016	AB
6	600	732	145			83	なし	AB		124	なし	AB
7	700	832	155			100	なし	AB		153	なし	AB
8	800	947	170			122	なし	AM		190	なし	AM

- 1種と3種は次のように使い分けてください。

日本産業規格（JIS A 5372-2016）では次のように定めております。

1種・・・主として歩道に用いるもの

設計荷重は群集荷重として500kg/m²を想定しております。

将来、車両の通行が予想される場合は 3種 を使用される事をお薦めします。

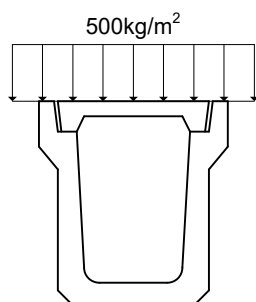
3種・・・主として車道に平行して用いるもの

設計荷重は車両制限令に定める総重量25トントラックの縦断走行を想定しております。

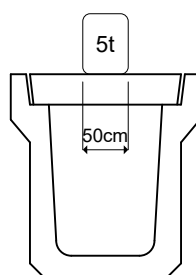
ここで注意して頂きたいのは、「側溝上又は側溝に隣接して走行することは少なく、一時待避などの場合にだけ、低速で走行するものとする」と定めていることです。

この定めにより、常にふた上を走行するような使い方は避けて頂くようお願い致します。

● 1種（群集荷重）



● 3種（T-25縦断）



● T-25の重量配分
トラック、トレーラー

